

# 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第38週（令和7年9月15日～令和7年9月21日）

福岡県感染症情報センター

## ■ コメント

レジオネラ症の報告が4件ありました。レジオネラ症は、主にレジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（細かい霧やしぶき）を吸い込むこと等により感染します。症状は、頭痛、食欲不振、筋肉痛、発熱、呼吸困難などで、適切な治療がなされなかった場合は症状が急速に進行し、命にかかわることもあります。感染を防ぐために、超音波振動などの加湿器を使用するときには、毎日水を入れ替えて容器を洗浄しましょう。また、循環式浴槽（追い炊き機能付き風呂、24時間風呂）を備えている場合は、浴槽内に汚れやぬめりが生じないように定期的に洗浄を行う等、適切に維持管理しましょう。汚れやぬめりを落として、レジオネラ属菌が増殖しやすい環境をなくすことが重要です。

## ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	10	548	238	10,014
腸管出血性大腸菌感染症	8	208	188	2,805
日本紅斑熱	2	10	19	440
レジオネラ症	4	52	38	1,631
カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	61	14	904
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	54	12	1,025
侵襲性肺炎球菌感染症	1	103	17	2,640
梅毒	10	545	149	9,871
播種性クリプトコックス症	1	8	3	119
百日咳	39	2,837	1,552	76,558

## ■ 定点把握疾患報告数

警報レベル（※）

注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	1,003	8.22	0.90	31,831	8.43
インフルエンザ	196	1.61	0.70	2,732	0.72
急性呼吸器感染症	6,314	51.75	0.92	229,689	59.83
RSウイルス感染症	222	3.17	1.01	3,781	1.65
咽頭結膜熱	37	0.53	0.84	677	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	190	2.71	0.94	4,312	1.88
感染性胃腸炎	377	5.39	1.06	11,033	4.81
水痘	13	0.19	0.62	444	0.19
手足口病	12	0.17	0.40	1,360	0.59
<b>伝染性紅斑（警報レベル）</b>	<b>175</b>	<b>2.50</b>	<b>0.92</b>	<b>3,846</b>	<b>1.68</b>
突発性発しん	30	0.43	0.77	772	0.34
ヘルパンギーナ	9	0.13	1.00	2,236	0.97
流行性耳下腺炎	2	0.03	2.00	125	0.05
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	12	0.02
流行性角結膜炎	43	1.65	1.34	752	1.11
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	6	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	16	0.03
マイコプラズマ肺炎	4	0.27	0.29	523	1.10
クラミジア肺炎	0	0.00	-	5	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	3	0.01

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。